



ぎふかれん



NO. 59 2018年1月号
発行 岐阜県精神保健福祉会

〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 福祉農業会館3階 TEL&FAX 058-271-8169

HP <http://gifu-karen.jimdo.com>

謹賀新年

ぎふかれん理事長 山田偉雄

皆様のご多幸をお祈り致します。日頃より、岐阜県精神保健福祉会（ぎふかれん）の発展に協力し、各種行事に参加・運営いただき感謝致します。

昨年は、10月13日に「未来のために今できること」をテーマに「岐阜県精神保健福祉会研修会 in 中津川」が、10月19～20日には「みんなねっと in 岡山」、11月9～10日に「甲州・東海ブロック家族会大会 in 山梨」が開催されました。「親亡き後」が話題になったように感じました。

岐阜県では、「障がいのある人もない人も共に生きる、分け隔てなく共に安心して暮らせる共生社会」実現を目指しています。障がい者団体・支援団体の声を聞きながら、社会・福祉資源の充実が図られて来ています。その利用に関しては、基本的には申告制です。その資源を知らなければ利用も出来ません。ぎふかれん・家族会共に勉強していきましょう。必要な資源の要求もしましょう。

ところで、今年の「甲州・東海ブロック大会」は岐阜県が当番です。高山市で11月9～10日に開催を計画しています（下記参照）。初日には、伊藤順一郎先生に講演を頂きます。当ブロック大会はぎふかれんの全家族会をあげての行事と考えております。ご協力の程お願いします。

なお、念願の「家族による家族のための電話相談」事業が県予算で認められました。また、ぎふかれんや地域家族会の活動の活性化を探るため、アンケートを実施し、約100名の方から回答がありました。その内容については、今後理事会等で検討したいと思っています。

平成30年度 甲州・東海ブロック精神保健福祉研修会 in 高山

日時 : 平成30年11月9日(金) 12:00受付 ~ 10日(土) 12:10終了
場所 : 高山市民文化会館 (JR高山駅西へ徒歩5分) (電話 0577-33-8333)
大会テーマ : 「社会的自立に向けた、医療と支援のあり方を考える」(仮題)
基調講演 : 「開かれた地域医療に、進めようアウトリーチ」伊藤順一郎医師
シンポジウム : パネリスト : 加藤 須田病院院長他、助言者 : 伊藤順一郎医師

今から計画を立てみんなで参加しましょう！また、知り合いの方にもお声かけを！



この機関紙は、岐阜県共同募金会のご寄付で作成致しました

NPO 法人 東濃やまなみ会 理事長 柘植 昭和

未来のために今できること



平成29年10月13日(金)の県大会にお越し下さいましてありがとうございました。

県大会は1年前から準備をしなければなりません。中津川大会は昨年6月頃より開始しまして、行政関係を主体にして御協力をお願い致しました。各市の負担金、実行委員会のメンバー選定等、特に負担金の予算を捻出して頂くことが大変でした。

結果的には5市がまとまった点は良かったと思います。

中津川大会は第29回(10年前)にも開催しています。前はなかなか負担金が集まらない状況が開催当日まで続きましたが、今回は最初から時間を掛けて行政との話し合いを行いました。行政関係を主体にして御協力をお願い致しました。

行政側もこの県大会には積極的に協力下さっていたのでその点は楽でした。実行委員会も恵那総合庁舎でさせて頂き、これと言って問題がありませんでした。講師をどなたにするか選出が大変でしたが、前は東京都の著名な先生をお迎えした筈、今回の県大会は東濃圏域でする以上、東濃圏域の病院の先生をお願いをしたいということになりました。

シンポジウムでは『親亡き後にどうしていくか』に対して、『私はこう生きています』『息子にこう生きてほしい』など、当事者、家族の立場として体験談を語って頂きました。この問題はこれから起きる問題ではなく、すでに起きている深刻な問題だと思います。受け止め方はさまざまと思いますが学んだことは沢山あると思います。この日学んだことを家庭に持って行き、それぞれの立場で方向性を掴んで頂ければ良いと思います。

恵那たんぽぽ作業所の和太鼓演奏は当事者のみなさんが演奏をしました。わずかな時間の中、日頃の練習の成果を出し切って頂けたと思います。ありがとうございました。

今回の大会の参加者は250名で、大変好評でした。

最後に、各家族会の方々の御協力と行政の方々のお力で開催できました事、担当以外のボランティアをお願いすること無く内輪で準備できました事、重ねて感謝申し上げます。

「みんなねっと岡山大会」に参加して

ぎふかれん理事長 山田偉雄

10月19日早朝、関から名古屋バスセンターへ、名古屋へのアクセスは大変楽になっています。名古屋から「のぞみ」に乗車、岡山で快速にのりかえ倉敷駅へ、駅構内に会場案内係2・3名が待機され、歓迎されました。会場まで歩いて15分程、参加者と思しき群れに付いて会場まで、途中案内版はなく、一人で歩くには多少不安がありました。

開会式には恒例の主催者の歓迎挨拶、来賓の祝辞がありました。参加者は1,000名程度か？

みんなねっとの理事長の活動報告に続いて、厚生労働省の行政報告について、「資料なしの説明では理解できない」との発言があり、進行を中断、事務局の方が検討することで進行再開。今後、行政報告の改善を期待したいと思いました。

「基調講演」：「当事者中心の地域支援再考」と題して、元「こーらる岡山診療所」所長の講演がありました。障害者の意向に寄り添う支援者のあり方などでした。

「記念講演」：「ピアサポーターと協同した地域移行支援についての試み」と題して、豊岡保健所長のお話。長期入院者の退院サポートとしての事業。当事者がピアサポーターとして活躍している実態。退院促進に効果が高く、サポートする当事者にとっても「生きがいになる仕事」、「世の中に役立ちたい」ととらえているとの話でした。

懇親会では岐阜からは1人、三重県からは23名、愛知県からは12の参加でした。カラオケ等で盛り上がりました。

「分科会」は第1分科会「地域における医療の確保」に参加しました。同じ様なテーマの講演会を高山大会にと思ったからです。分科会では、精神障がいを抱える人の健康管理についての説明、精神障がい以外の病気、副作用等についての説明がありました。また、県精神医療センターからは、訪問看護のニーズ、「地域包括ケアシステム」の構築についての、興味ある話題でした。また、生活支援センターの活動・現状についての事例紹介がありました。

閉会は12時30分頃。帰りは、美観地区のお堀端を散策、折しも川船での結婚衣装の新婚さんのカップルを眺め、せっかくの倉敷市にきたので大原美術館へ。洋画部門では、門外漢の私でも知っているクールベ・セザンヌ・モネなど多くの画家の作品群、東洋館等も含め1人で1時間近くを過ごし、帰途につきました。大原美術館に行ったことのない家内が残念がりました。

「知ってもらいたい心の病」の開催（案内）

日 時：2月17日（土） 13：00～15：00（いつもより早く始まります）
場 所：岐阜県精神保健福祉センター（岐阜市鷺山向井 2563-18 電話 058-231-9724）
講 演：「これからの精神科医療のあり方」（仮題）
講 師：中谷真樹先生（山梨県 住吉病院院長）
主 催：NPO法人岐阜県精神保健福祉会連合会
協 力：岐阜県精神保健福祉センター、岐阜県精神保健福祉協会

東濃さつき会の歩みとこれから、職員理事として思うこと

NPO法人東濃さつき会 理事 江崎道春

東濃さつき会は、昭和 61 年岐阜県の援助で東濃西部 3 市 1 町（多治見市、土岐市、瑞浪市、笠原町）の家族が集まり、精神障がい者の家族会として発足、平成 2 年瑞浪市で小規模作業所・ドリームプラザを開所、運営してきました。

私がかかわったのは平成 1 8 年からで、民主商工会を退職し求職中に当時の理事長さんから、「多治見市にも作業所をつくりたいので手伝ってほしい」と言われたからです。ドリームプラザに何回か研修に行きましたが、通所者 10 名余に 60 代後半の所長さんと 2~3 人の職員で箱折りなどを行っていらっしゃいました。通所者は、職員の指示のもと、一生懸命働いてみえ、どこが障がいかわからない方もいらっしゃいました。

平成 19 年 1 月、多治見市にも作業所・ピュアハート姫を開設する運びとなり、正規の職員として働き始めました。所長さんは、家族会の中心メンバーがなられ、職員 3 人で出発しました。少しずつ通所者も増え、平成 21 年、2 つの事業所が就労継続支援 B 型に移行しました。その時所長が資格を持った職員に代わり、しばらくして前所長との間で意見の違い等があり、家族会の前所長さんが退職されました。私が、家族の思いと事業所運営について考えさせられたはじめてでした。

就労継続支援 B 型事業に移行して、通所者も徐々に増え、平均 30 名前後になり、職員も両事業所で 10 人を超えるまでになってきました。平成 25 年、理事長さんから「家族の事と体調も良くない、理事長を引き受けてもらえる人がいない」ので、職員の私に理事長をお願いされ就任しました。本来は家族の方が理事長をやられるべきだと考えましたが、事業所の運営も簡単ではなく、家族会の活動と事業所運営とを共にやっていくことをお引き受けしました。

平成 26 年 10 月からは特定相談支援事業（ウイズ）も行っております。

現在の運営は、家族会役員会、両事業所運営委員会を中心に行っています（別図）。家族会は、家族の方から知りたいことや、やってほしいことを出してもらい、毎月第 3 土曜日を中心に集い、学習会などを行っています。事業所は、通所者・家族の思いに応えられるよう「家族会の基本理念・職員の行動規範」をつくり、毎月の運営委員会と 2 ヶ月に 1 度の割合で合同研修を開き話し合っています。

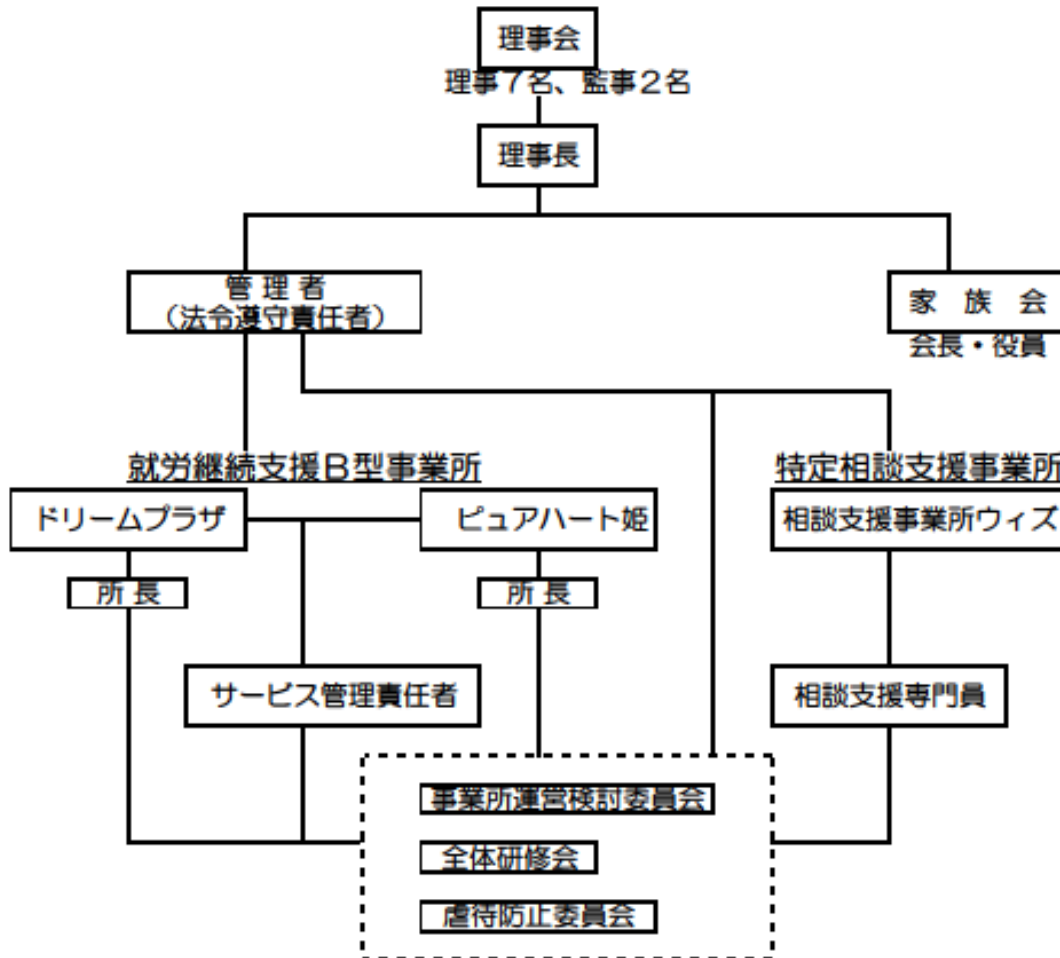
両事業所とも土地・建物は市から無償で提供されていますが、悩みは、ピュアハート姫は公民館のような建物で、地盤が悪く、建て直さなければならない状況であること、通所者を毎年 A 型事業所や就労に送り出しており、新しい通所者がなかなか増えないこと、親が亡くなり一人暮らしの方が増え、どこまで、どのように支援できるかなどです。

また、当事者の方の 20 名以上が、病気等で両事業所へ通えていません。相談事業所と連携して、どのようなサービスにつなげていくかが課題です。そのためにも、就労移行支援、自立・生活訓練、グループホーム事業が必要ですが簡単ではありません。

どの家族会も苦勞して運営されていると思いますが、一助になれば幸いです。

東濃さつき会組織体制図

東濃さつき会・組織運営図



みんなねっとが厚生労働省へ、障害年金に対する改善要望書提出（2017年8月提出）。

1. 障害年金2級を生活保護基準並の年金額に引き上げること。
2. 初診日の一層の緩和と柔軟な運用。
3. 精神障害者の認定基準に労働能力を実態に即して評価すること。
4. 診断書の日常生活能力の程度を精神障害者の特性に応じた内容にすること。
5. 就労状況の評価は、実態を精査して慎重な配慮を望みます。
6. 無年金障害者の救済。
7. 認定が診断書と認定医によって左右される実情を改善すること。

※みんなねっと 2017年11月号5ページにも載っています。詳細はみんなねっとホームページをご覧ください（新着一覧の2ページにあります）。

今回のブロック大会には、ぎふかれんの山田理事長より「第二分科会（当事者発表）でパネリストをして欲しい」という依頼を引き受ける形で参加が決まりました。場所は山梨県の河口湖町。富士山麓の風光明媚なところ。期日は11月9日、10日の二日間、湖畔の宿に一泊しました。旅の好天を祈っていたところ、前後の雨の日を挟んで二日間だけが良い天気にも恵まれ、富士山を間近に見られる嬉しさでいっぱいでした。

JRの中央線経由で行くルートを選んだため、木曾路の見事な紅葉を見ることができ、特急「しなの」に乗った2時間というものはあっという間に過ぎていきました。

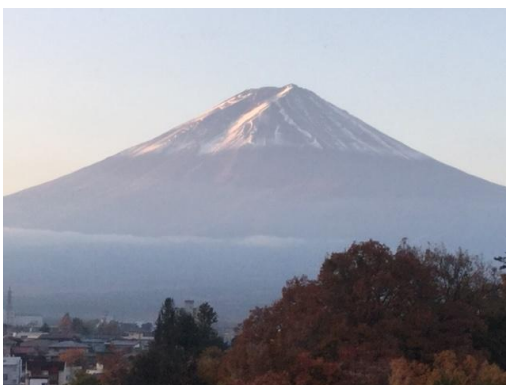
一日目は基調講演。山梨県立北病院の沿革をたどりながら精神科医療の展望を話されました。クロザピンの難治性統合失調症への適応が遅れていること、精神疾患を抱えた患者の身体の病を併発した際の対応の遅れなど、現在の医療体制の問題点の指摘をいただけたことは参考になりました。

ホテルは大部屋で、わたしは他県の方との6人部屋に入りました。部屋では、初日の講演等を受けて活発に議論がなされました。クロザピンの使用や合併症を持つ当事者の問題は、日本は単科の精神病院がほとんどで、内科等ほかの診療科との連携が十分になされていないことが問題であるところで、行政に対してまず、公立の総合病院の中に精神科を設けてもらえるように、県の家族会単位で運動をしていく必要があることなどが指摘されました。

また、部屋では二日目の発表で一緒させていただく方とも懇意となり、同じ県でまとまらなかったのを逆に喜びました。

懇親会では、次年度ブロック大会開催県に当たっていることもあり、名刺を持って積極的にアピールして回り、特に参加されていた当事者の方々とお話をして回りました。そこで発表される他の4人の方と面識が持てたことは大きかったように思います。

夜、眠れずにロビーにいたところ、明日の発表者及び司会者の方とお話を持つ機会が持てて、安心しました。当事者発表が初めてで、かなり緊張することが予想された私にとってこの時間は緊張をほぐすに十分な時間でした。



二日目の体験発表は、持ち時間の10分も話す内容があるだろうかと思いましたが、ふたを開けてみると心に残った内容が多かったように思います。司会の方が楽しい分科会にしましょうと言ってくださったように楽しいひと時を過ごしました。

大会後、第二の目的地であった東京へと一人で向かいました。

物品販売にご協力ありがとうございました。

平成29年度収益は、お中元：60,065円、お歳暮：31,786円（合計：91,851円）でした。

ぎふかれん理事長出席の会議等（報告）

岐阜県精神保健福祉社会連合会役員として参画している

県・各種団体の委員会出席状況及び全国精神保健福祉社会連合会、
甲州・東海ブロック、ぎふかれん関連会議等

- ・岐阜県障害者スポーツ協会及び障害者3団体関連の主な行事（障がい者スポーツ協会副理事長）
6/9：障がい者スポーツ協会理事会 6/16：障がい者スポーツ広報委員会 6/25：障がい者スポーツ社員総会 9/12：長良川マラソン実行委員会 10/15：障がい者スポーツ秋期大会
11/12：障がい者グランドゴルフ岐阜県大会 11/16：第25回サイコリンピック大会
- ・社会参加推進協議会・施策推進会議関係等
6/7：第1回社会参加推進会議 8/10：障がい者一般就労拡大推進会議
8/31：県への要望及び意見交換会 9/15：第1回県障がい者施策推進会議
9/25：国会議員との意見交換会 11/28：施策推進会議（第2期岐阜県障がい者総合プランの検討）

ぎふかれんからの要望
 県へ：親亡き後の住まいの確保。グループホームの整備促進。訪問医療体制の促進、援助。
 国へ：3障がい同等の差別のないJR運賃割引制度の導入。訪問医療体制の促進。

- ・精神保健福祉協会関係等
5/31：精神保健福祉協会総会・理事会 11/8：こころの健康フェスティバル
- ・みんなねっと・甲州東海ブロック関係
6/2/3：みんなねっと総会・会長事務局長会（東京）9/4：甲州・東海ブロック役員会（浜松）
10/19・20：みんなねっと岡山大会（倉敷市）11/9・10：甲州・東海ブロック大会 in 山梨
- ・ぎふかれん関係（ぎふかれん理事会）
9/29：ぎふかれん第2回理事会・臨時総会 30年1/18：第3回理事会（予定）
- ・県大会 in 中津川
6/21：幹事会 7/4：実行委員会 8/29：幹事会 10/2：実行委員会 10/13：大会
- ・ブロック大会 in 高山
6/29：打ち合わせ 9/7：第2回実行委員会 11/2：第3回実行委員会
- ・その他
7/29：「知ってもらいたい心の病」揖斐川町 7/3：県議会傍聴（JR運賃割引に関する意見書採択）
8/1：中日新聞社会事業団助成金授与式等 2/17：「知ってもらいたい心の病」岐阜市（予定）

《 イベント表（案内） 》

月 日	場 所	イ ベ ン ト	主 催
1月17日(水)	北方町健康センター	講演会；講師：櫻庭泰氏 県センター医師)	いこい会
2月17日(土)	岐阜県精神保健センター	第3回「知ってもらいたい心の病」	岐阜県精神保健福祉社会連合会
11月9～10日 (金・土)	高山市民文化会館	甲州・東海ブロック大会 in 高山	岐阜県精神保健福祉社会連合会

【各家族会の例会・イベント】

岐阜市あけぼの会	1/20 (土) : 新春講演会 (講師: 花井弘和氏 作業療法士) 岐阜市日光コミセン 2/20 (土)、3/10 (土)
たんぼぼの会	1/30 (火) : 講演会 (講師 社会保険労務士 (未定)) 各務原市総合福祉センター 2/13 (火)、3/13 (火)
いこい会	1/17 (水) : 講演会 (講師: 櫻庭泰氏 県センター医師) 北方町保健センター
いぶき会	1/20 (土)、3/17 (土)
ハウス希望	1/13 (土)、3/10 (土)
中濃わかば会	毎月中旬の土曜日
東濃さつき会	1/20 (土) 2/17 (土) : 成年後見制度のお話 3/17 (土) : 病院の先生を囲む会
青葉の会	1/9 (火)、2/13 (火)、3/13 (火)

会員 (家族会員)、賛助会員及びボランティアの募集

各地区の家族会として、家族会員の募集を致しております。岐阜県精神保健福祉会連合会では、各家族会を会員としたNPO法人として、家族会相互のネットワークづくり推進により、福祉関連事業を行ない、地域福祉の向上を目的としています。本年度は、福祉関連講演会・勉強会、電話事業を実施し、機関誌の発行を行っています。ぜひ会員や賛助会員として、ご援助頂きたいお願い致します。

会員：1,000円/年 賛助会員 (1口)：個人1,000円/年、団体：10,000円/年

* ぎふかれんホームページのご案内

グーグル等の検索エンジンから「ぎふかれん」と入力して探してください。
みんなねっとのホームページからもアクセスできるようになりました。

* 「家族による家族のための電話相談」

相談日：火・木曜日 (10:00~15:00)

TEL：058-271-8169

携帯電話：090-6587-8169

携帯電話：090-6578-9838 (熊谷)



【編集後記】

「ぎふかれん」誌を12月中に作成しようと努力しました。内容・読みやすさはどうでしょうか。会員の皆様のご意見をお待ちしています。良いお年を。